

☆令和2年10月1日に国勢調査が実施されます。

配布
大洞 4-
54
東山 4-
53
北山 38-
342
北 5-
88
桜台 23-
311
桜市 25-
136
5棟 4-
16
6棟 4-
25
9棟 4-
23
2P 1-
13
柏台 31-
301
柏市 19-
103
14棟 4-
22
15棟 4-
15
桐丘 23-
175
桐市 6-
28
紅葉 21-
237
紅市 16-
77
合計 236-
2019

空き家 空き家管理の開始にあたって

—NPO法人まちつくろう会GIFU（仮称）

・理事長（予定） 山田 正行

昨年8月に行なった10年後を見据えた地域の将来像についてのアンケートの問いに、空き家に対するご意見が沢山ありました。「今後も空き家が増える」「空き家対策」「草木の手入れ」等々がありました。そこで空き家の対策に取り組むために「NPO法人まちつくろう会GIFU」（仮称）を立ち上げ空き家を管理いたします。

この会は地域の皆さんの手を借りて空き家の状況の見回り及び報告、空き家の手入れなどの管理業務をするものです。携わっていただいた方には謝礼金をお支払いすることを考えています。

空き家管理を始めると法に絡んだ色々なケースが出てくると考えます。名義変更とかリフォームとか転売などの話も出てくるかもしれません。そのためにもどんなケースにも対応できるように土地、建物、登記等の専門家で組織した「一般社団法人空き家管理機構」とタイアップして空き家の管理を進めていきます。

後日、どこに空き家があるか？ 持ち主はどなたか？ 空き家管理に携わっていただける人は？ などのアンケートを行ないます。ご協力をよろしく願いいたします。

支部だより 趣味のゴルフのために！

—桜台支部長・平松 準さん

私は会社を退職して約10年になり、今では後期高齢者となって趣味のゴルフをして楽しんでます。会社勤めの時に、ゴルフをご一緒させて頂いた方がとても元気な方で、ゴルフカートに乗られず全ホール歩いてゴルフをされていました。スコアも80台で回られ、とても上手な方でした。



年齢は83歳との事で、健康のために毎日10Km以上歩いておられるとの事です。私も元気に趣味のゴルフが出来る健康な人生を送りたいと思い、退職してから毎日1時間は散歩をしようと思い、約10年間、雨の日を除いて歩いており、今では家内も一緒に歩いております。

後期高齢者になっても元気に趣味のゴルフをしたいという目標をもって、健康に気を付けて歩き続けたいと思っています。

支部だより 豊かな心で暮せるまちに

—柏台支部・堀田 信夫さん

私たち家族が大洞に移り住み40有余年になります。子育てと、共働きの日々があっという間に過ぎ、気が付けば古希を迎えた夫婦の二人暮らしです。最近、同じように時をおくった方が、この地域から引っ越しされます。「子供が心配してくれて」「体が言うこと効かん、当番が来てもお役に立てない」高齢ゆえの不安が共通して聞かれます。人生の大半をおくり慣れ親しんだ地域を去ることの寂しさや、環境が変わる事への不安を抱かれ迷いに迷っての決断だと察します。



高齢になられた方々がこの地を離れることに伴って、空き地、空き家の増加も気がかりとなります。持主と地域の人たちの知恵と工夫で楽しい大洞を作っていけたらと思います。コロナ感染を十分警戒しつつも、お互いに支えあい、元気はつらつと外出ができ、買い物ができる。子どもも大人も豊かな心で暮らせる、そんなまちにしていきたいです。

美化 安心・安全な住みよいまちに！

—桜台美化クラブ・HTさん

「桜台7丁目バス通りへの階段」から「8丁目桜台・柏台連絡橋」までの遊歩道に、斜面転落防止用の生垣としてカイヅカイブキが植えてあります。

以前は、岐阜市役所住宅課が一年置きに生垣の剪定をしていましたが、予算の関係か手入れをしなくなり、生垣の面影もなく伸び放題になっていました。

そのような状況下、桜台住民から、遊歩道を活用される人々にとって危険では、また薄暮に歩いても暗く気味が悪いとの申し出がありました。

問題が起きる前に措置をしようと、市住宅課に許可を求め、去る6月27日（土）にカイヅカイブキの剪定を行いました。8丁目美化クラブの4人で分担しチェーンソー、生垣バリカン、太枝切り鋏を使い剪定し、後始末や清掃等の作業をしました。



高温多湿の最中、おおよそ150本の剪定は大汗をかき大変でしたが、遊歩道は明るくなり、バス通りも一望できすっきりしました。少しでも安全・安心な住みよいまちになればと思っています。

☆夏まつり・盆おどり大会、敬老会、市民うどん会↓新型コロナウィルス感染予防のため中止します。

岐協苑 安心・安全で暮らせる施設に

—岐協福祉本部施設長・伊藤 満さん

新型コロナウイルスの発生を受け、感染症予防用品（マスク等）、感染者が発生した事態の備え、感染症防護用品（防護服等）を3か月分備蓄いたしました。職員に対しては、毎朝出勤前の検温、三密避ける行動、マスク着用等指示するとともに、事業所間の交流を禁止しました。さらに、苑内行事、外出行事の中止、会議・委員会は文書・電話で対応、幹部職員のテレワークを実施しているところです。

高齢者施設においては、主に施設外で感染して施設内に持ち込まれるケースが多いことから、職員だけでなく、新規入所者や面会者等から感染症の病原体を施設の外部から持ち込まないように留意することが重要なため、外部からの来苑者は入苑をお断りして、玄関で対応することとしました。やむを得ず書類のやり取りが必要な場合は、玄関に卓上型アクリル板を通して対応することで出来る限りの対策を講じ、感染予防に努めております。

本年度、大洞幼稚園跡地にユニット型特別養護老人ホーム（定員29人）を新設いたします。大洞岐協苑、日野岐協苑と共に安全で安心して暮らしていただける施設運営を目指し、地域と共に歩んでいきたいと考えております。



ささゆり オンラインでのふれあいを

—みどり福祉会専務理事・住田 崇さん

コロナ禍の中、地域のみなさま元気にお過ごしでしょうか。私の所属する「ケアハウスささゆり」も新型コロナウイルス感染症の予防に取り組みつつ、新たな取り組みも始めています。

少し前のことですが、ある利用者様から「麻雀をしたい」という申し出がありました。麻雀は感染症の問題として、2mの距離を取りにくく、接触感染が避けがたいことから、時期尚早と判断していましたが、「オンライン麻雀」なら接触感染を避けられるし、一定の距離を保つことが可能ではないかということで整備を進めてきました。実際に打ってもらった結果、パソコンの操作も何とかこなしていただき、楽しんでいただいております。



コロナ禍の中で、オンライン飲み会などの「オンライン〇〇」というインターネットを通じて行うコミュニケーションがとられています。若い世代だけでなく、高齢者も含め、今までとは違うコミュニケーション手段として活用していけたらと思っています。

民生児童 心のこもったマスクの配布

—芥見東民生児童委員協議会長・野村 稔さん

今年は新型コロナが猛威を振るい皆さんが自粛、自粛と強いられて気持ちが暗くなる中、心温まる事がありました。藍川東中学校の3年生と2年生の女生徒さん3人が、朝早くからドラッグストアにマスクを買い求めるために、高齢の方々が並ぶ光景を見て、「困っている人達のお役に立ちたい」と、誰よりもいち早く行動を起こされ、マスクを十数枚作られました。藍川東中学校で生徒さんから芥見東自治会連合会会長さんに、可愛いうさぎのデザインでラッピングされた手作りマスクを「地域の方に使ってください」と託されました。



地域の情報を把握している民生委員に配ってほしいと、連合会長さんから優しい気持ちのこもったマスクを私に渡され、後日定例会の時に委員全員にこれまでの経緯を報告し、数ある分を地域の一部の方に事情を説明しながら高齢者の人達を中心に配布してもらいました。

お配りした先では、一人住まいの方が手を合わせるように喜んでくださったり、ご自分で感謝の気持ちを学校にも伝えられ喜んでいただき私は感激しました。

この地域で配布された寄贈マスクや新型コロナウイルスで自粛期間中のアベノマスクより早く心のこもったマスクの配布となりました。

薬局 地域の皆様の健康の窓口として

—ファルマネットぎふ専務理事・戸崎 日月さん

2002年の4月にしいのみセンター薬局は開局いたしました。それから18年、地域の皆さんの一員として「フレイル教室」「健康講話」や「運動会での救急活動」などにもご一緒させていただいています。

しかし、もっと地域の中に密着した保険調剤薬局であるべく、2017年に私たちは法人形態を有限会社から一般社団法人へと変更しました。小さな取り組みですが、公益的な活動でもっと地域に貢献できるようになると考えています。



この新型コロナウイルス禍の中で、健康管理が今までよりも難しくなっています。服用されているお薬のご相談をはじめ、生活での困りごとなども是非お気軽にお問い合わせください。

当薬局は「健康サポート薬局」の認定を受けており、地域の皆様の健康の窓口として今後もありつづけたいと思っています。